なかさと

発行所
中里村公民館

現在人口
男 4.637
女 4.695
計 9.368
世帯数 1.665

変る社会とこれからの生き方

…第七回郡市社会教育大会から…

去る七月二十三日、津南町下船渡中学校で第七回郡市社会教育大会が開かれ、青年、婦人、成人など約六百名が参加して「はげしく変りつゝある社会に社会教育はどう対処し、地域の実態の中にどのような運動を進めたらよいか。」…という主題のもとに講演を聴いたり、しんけんな分科会討議がおこなわれた。

講演は、朝日新聞社論説委員伊藤昇氏を招聘、「変る社会とこれからの生き方」と題し概要次のとおり。

◇変化する世界

習慣というようなものはなかなか変らないものであるが社会は時代の流れと共にかなり変っていく。とくに近頃は「はげしく変りつつある社会」という感が深く日本だけでなく世界全体が変動していきている。その大きな要因は今日のめざましい科学技術の進歩の結果であろう。一九五七年ICBM、つづいてスプートニクII号の打上げ成功はソ連アメリカの関係にかなりの変化をもたらしている。そしてこれらの科学技術がつくり出す兵器はもはや究極兵器である。ボタン一つの操作で戦争が行なわれたり、原子力、宇宙外交で国際関係が保たれるという時代である。いまこそ人類平和の問題がしんけんに考えられなければならない時代だと思う。

第二次世界大戦後、今日までにアジア、アフリカなどの植民地諸国が次々と独立してきているが東西両陣営の中で同じ民族が南北激しく抗争をつづけていることは深刻な問題である。しかしこの問題から共通に感じとれることは「弱いもの生きられる」という民主主義的な考え方が流れているということであり、今日ではそれがインターナショナル、デモクラシーの時代になってきているともいえるのである。

◇変化する日本

日本の政治、経済、外交なども国際情勢の変化に無関係ではあり得ない。日本経済の伸長はめざましいものである。日本人がよく働く国民であり、加えて科学技術の振興、企業合理化、消費ブームなどがこれを支えているといえよう。しかし、この高度の経済成長のかげで日本経済の二重構造の問題が大きくなってきている。大企業と中小零細企業の所得格差はますますひらきしかも中小企業が日本経済の半分以上を占めているのである。なかなかむづかしい農業問題などは単に米価値上げなどでは解決できないものがあると思う。いずれにしても今日は経済二重構造の修正をせまられている時代だといえる。

◇変化する生活

近頃の日常生活にも大きい変化がみられる。なかでも食生活についてはいろいろの面に影響がある。学校給食や一般家庭での食生活改善によって米食中心からパン食に変りつゝあり、農業生産なども国民の食生活の変化に備えて考えていかなければならない。また食生活の向上によって子どもたちの体位が目に見えて向上していることはたのもしいことであるがしかし反面肉体的に早熟することから青少年の性犯罪、非行化の問題が多くなっている、とも云われている。衣生活も、化学繊維、レディメードが一般化し流行の変化もめまぐるしい。住生活についても都市ではアパートが多くなり集団生活の時代になってきた。そこには集団生活のための新しい道徳も必要になってきている。

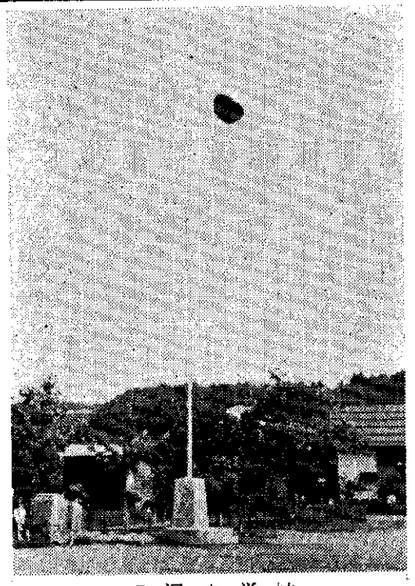
◇マス・コミの問題

マスコミは人間にそれまでの考え方を変えさせる一つの素材であるとおもうが、ウノミにしてだまされてしまうこともあるマスコミに対してよく考え判断するこゝろがまえをもつことが必要である。大量に生産される物質がマスコミによって大量消費されているわけだが人間の物質的欲望で生活が追っ掛わされているような気持ちがする。人間のしあわせが物質的な欲望の満足だけで得られるものでなくて精神生活とほどよくバランスのとれた生き方を考えることが大切である。このような態度を身につけていくことは社会教育の重要な課題であろう。

◇国内の人口移動

農村人口の都市への移動は今日の経済や社会事情からすれば必然的なことであろうがとくに青少年の人口が農村では減少し都市では増えていることは現実の問題であり、それ故農村青少年の教育についてはもっとしんけんに考えてみなければならない。職業技術教育はもとより将来どこへ行くにしても立派に生活ができ、しあわせになれるために必要な基礎教育をもっと充実していかなければならない。

いまは農村といっても専業農家は激減し七割は兼業農家である。したがって農家にも農業以外の職業に従事している者も一しょに居住しているわけだが、しかしこれからはだんだんと雇われ生活の時代になるであろうから社会でも家庭でもよい人間関係をつくっていくということは大切なことでありとくに家庭では主婦のうけもつ役割が多くなってくる。子どもの家庭教育のあり方などについては大きな関心事であるがいまアメリカあたりでも両親が共かせぎのため「家庭の中に忘れられた子供たち」ということで子どもの家庭教育が大きな社会問題になっている。（女賞樋口）



田沢中学校

国旗掲揚塔完工

生徒の勤労所得が基となり、職員の寄附、PTAの援助その上に、村から莫大の補助を仰いで多年宿望の国旗掲揚塔が7月31日完工した。

台座径2米半の円盤の上に角柱がたち地上18米の鉄パイプ製で校門のそば、即ち校庭の中心線の端にそそり立つ。

工事 「塔」 長岡市十見鉄工所
「台座」 村内 大村建設

栄養調査実施

明るい豊かな村づくりは先づ住民の健康からということで今春他町村に先がけ栄養士を採用食生活の改善に力をいたすことになったが。

このたび十日町保健所と共同で村の栄養調査を次の要領で行なうことになりました。この目的とするところは村民の栄養状態と食事生活から来る身体の症候（疾病等）を知ってこんごの栄養改善の指針とすることにあります。

以って村民の健康を管理し体位の維持向上を図ることにある訳です。勿論四季大きく食生活の内容に変化があるのでこれを以って年間の改善資料とならないがこんご時期毎の調査を行う方針でいる。

一、調査区域
荒屋、芋川、本長敷

二、調査期間
八月中

写真は身体症候調査
毎日の私たちの食事生活が身体にどのような症候となって現れているか。（於農員野）

八月の栄養

夏やせは暑さのための身体消耗、胃の衰え、睡眠不足などの悪条件が重なり起ります。こうして抵抗力がおちているときとかくいろいろの病気にとりつかれがちです。

また秋口に初期の結核症状になる人が多いのも夏やせ、夏まけが原因になるようです。一般に夏やせと簡単にいいますがこれは、栄養上の赤信号です。暑いから食べたくないですまさずに、いろいろ工夫してビタミンやカロリーを補って下さい。

夕食にだけ御馳走を集中させず、朝の涼しい食卓に、魚、豆など蛋白質を並べるようにしましょう。ビタミンBは薬をのんでもよく、食物なら七分づき米強化米、牛乳、卵、豆などでとります。ビタミンCは、緑の野菜で補給します。また、できるだけ油を多く使って調理しましょう。とかく忙しいといって、みそ汁にキウリ、ナスの漬物式の味気ない食卓になりがちですが、病気にとりつかれたら大変です。特にこの月の栄養に十分注意を用いて下さい。

第三回切く年少者の生活写真募集!!

労働者の主催でいま働く年少青年の生活写真を募集しています。この写真募集はことしで第三回目ですが、働く年少者の生活を写真によって広く社会一般に紹介し、理解と協力を得て青少年労働者の保護、福祉の向上に役立せようとするもので全国的によびかけをおこなっておりますのでふるってご応募下さい。なお、募集要項は次のとおりです。

一、応募規定
イ、題材は働く年少者を中心としたもの
ロ、内容は労働または余暇生活の情景
ハ、写真の大きさは手札型以上
ニ、応募写真一枚ごとに住所、氏名、年齢簡単な内容説明を書き添える。
ホ、応募作品は未発表のもの
二、締切八月三十一日まで
三、送り先
東京都千代田区大手町一ノ七 労働省婦人少年局年少労働課
四、発表と入賞
九月下旬、直接入賞者に通知するほか報道機関を通じて発表する。
労働大臣賞及び賞品その他の副賞があります。
五、その他
応募作品は返却しないで労働省広報資料として使用します

夏やすみの心がまえ

一つ ひとり一人が良い家族
二つ 不断の努力ます勉強
三つ 右がわ歩け、油断なく
四つ 夜の外出危険とたらく
五つ いつも健康腹八分
六つ 無理な水あび死出の旅
七つ 仲よく正しくきまりよく
八つ やめよ、おしゃれと無駄づかい
九つ これは迷惑、悪遊び
十 時は金なり、日課表

八月の国保・衛生メモ

＝主なもの＝

◆衛生◆

1、夏季大学参加（部落自治会各一名）
2、小児マヒ生ワクチン投与
3、結核精密検診
4、共同保健計画
5、衛生害虫駆除
6、水道水質検査
7、結核間接撮影（自二十一日至三十日）
8、百日咳、ジフテリア予防接種

◆国保◆

1、栄養調査（九月二日まで）
2、運営委員会
3、滞納整理
4、妊婦検診
5、乳児検診
6、共同保健計画
7、婦人がん検診
8、受胎調節指導

ポリオ生ワクチンお盆前に投与

◆生後三ヵ月から小学一年生迄◆

既に新聞、ラジオ等の報道により御承知のところでありますが経口生ポリオ（小児麻痺）ワクチン投与がいま全国的に実施されています。中里村でもこのおそろしい小児麻痺患者を近年三名も出していますので一はやく別記により生ワクチンの投与を実施致します。村内の該当者は会員受けられるようにして下さい。

◎生ワク投与実施要領

一、該当者
生後三ヵ月から小学一年生迄各家庭にチラシを配布しますので該当者には申込書を送付しますので該当欄に記入し投与当日必ず持参願います。
（但し小学生は学校で行いますので申込書は不用）。

二、飲むときの注意
①発熱、下痢等の急性の病気に患っているもの、又なおって二週間たたないもの
②病気をしているもの
③病後衰弱しているもの
④栄養障害の著しいもの
⑤投薬や輸血の手術などを受けたばかりのもの
⑥医師が不適当と考える病気にかかっているもの
尚、当日会場で医師が予診を行いますので御相談下さい。

三、飲む方法と後のこと
生ワクチンは年齢に応じてボンボンかシロップの形で与えられます。飲んだ後は入浴や食物に注意する必要はないが特に変ったことがあればすぐ医師に御相談下さい。

四、費用 無料
五、日程 別表の通り
〔注〕生後三ヵ月～満六才迄の子供は会員申込書に記入し病気その他で出席できない者も申込書にその旨記入し、当日必ず提出して下さい。

日時	会場	実施地区、学校
八月九日午後一～三時	貝野小	貝野地区、同小
十日午後一～三時	田沢小	田沢地区、同小
十一日午前九～十一時	高道山小	高道山地区、同小
〃 午後一～三時	清津峡小	清津峡地区、同小
十二日午前九～十一時	倉俣小	倉俣地区、同小

食品営業の実態について

中里村会役にわたって、去る五月二十三日より四日間をついやして、食業者にわたって施設を監視しましたが、その時、特に感じたことを述べれば施設の不備の箇所がないのは二、三の業種を除き何かしら不備の箇所がありました。許可を要する業種についてはあまり知られておりませんが、食品衛生法や、新潟県の条例により施設の基準が定められておりますが、中里村については防疫設備や施設の区画、不衛生等の不備が目立ったわけです。又、或る業種については許可を受けないで、営業をしているような状態でありました。食品衛生法や、その他関係法規にもとづき消費者一般の人人が安心して売買出来る様な衛生的な施設、設備で製造、調理販売される様努力してもらいたいと思いますので、設備の不備なる面についても、その不備をなおす機、営業者の方々に注意しました。その後、七月二十四日に中里村の中心地、田沢、山崎地区を監視しましたが、設備の不備に対して注意された施設の内で約七〇%は不備の施設を補修、改造しておりました。このことは本当にうれしいことだと思いますと同時に、食品営業について非常な熱意が感じられます。殆りの三〇%の施設について遺憾ながら施設を改善するとしても遺憾ながら施設を改善するとしても遺憾ながら施設を改善しておりません。その他の地域はその後まで巡視しておりませんが誠意のある方々ですので、もう不備の箇所を補修している事と信じます。

業種一つ一つの事については差換えて、中里村の場合、都内全般から見ると、今回注意された方々が施設を改善しましたので施設については、中くらいではないかと思いますが、「衛生的な感覚がやや劣るのではないか」と見られるむきもあります。

尚、食品販売店については、魚介類の一塩ものや、一塩もの等についてはアミかガラスの蓋をつける様にして、蝿の付かないように工夫しましょう。煮干し等については、保管の方法を考えて、虫の付かないように工夫して下さい。ジュース類については、製造元のはっきりと明記してある品物を売買しましょう。乳飲児、子供のオモチャ類については、キレイな色のものが出回っておりますが、子供が直接、口にもっていく品物ですので有害色素の使われていると思われるような、ケバケバしい色のものをさけて買って下さい。

これから一層、胃腸の弱る時期ですが、寒冷さ等に注意すると共に食中毒に充分注意して下さい。仕出しの折詰等については、すぐに食べる様にし、持帰った場合等にはもう一度、火をとおしてから食べましょう。

尚消費者一般の人々に注意してもらいたいのは、食品が変敗腐敗しやすい時期ですから、調理後すぐ食べる様にすると同時に蔵生的な習慣を身につけ、蝿、蚊、ねずみ、油虫等を駆除しましょう。また魚等買って来た場合、すぐに調理し取扱い等に充分注意して下さい。

消費者の方はあまり良く知らないと思いますが、食品営業者の団体として、食品衛生協会というものがありますが、この協会で一応安心して食品を買われる店として、緑色の台に白字で「食品衛生協力の店」と書いたものを掲げておりますが、そういう店を大いに利用して下さい。

以上が中里村の食品営業の実態であり、消費者の注意される点ではないかと思いますが、今後営業者の努力、関係機関の努力によって中里村の食品営業はどんどん向上していくものと思われます。（保健所田川技師）

本年もどうぞ
共同募金にご協力を!!

共同募金運動も既に十五年を迎えました。この間、皆様方の深いご理解、ご協力によって常に県内のトップを切って完納されていることは新聞紙上に於いてすでにご承知のことと存じます。今年もまた共同募金の時期となりました。まだ県から正式の割当を受けていませんが、内示によりますと、昨年の二割増となっております。（昨年九二、二三〇円）一二、〇〇〇円程度となります。これを街頭募金、興業募金にわけて皆さんのご協力とご援助をお願いする訳であります。

若しもこの世の中から、病気と貧乏を追放することができるならば、犯罪も忌わしい争いもなくなり、明るい社会が現実に出来るのであります。社会福祉事業とはこのような明るい社会をつくる仕事であり、共同募金は、この社会福祉事業の唯一の資金としてつかわれております。中里村社会福祉協議会でも昨年の還元金として七七、二六三円の配分を受け、耳や目の悪い人達の無料診療をおこなったり、又肢体不自由者の無料診療を行い、身体障害者手帳の交付者発見等に実効をあげております。なにとぞ、このようにつかわれる共同募金をお盆の街頭募金、お盆後の興業募金にご協力下さるようお願いします。

ゴミはゴメンの立札

村の衛生自治会ではゴミ捨てはゴメンの立札をつくり、村内のゴミ捨場でないところに捨てられて困っているところや、社会的に見にくいところの捨場、非衛生的で困っているところを見つけ次第、部落の自治会の協力を得て掃除をしてもらい「ゴミは捨てないで下さい」の立札を立てることにしています。一人の不心得ものがないよう協力しましょう。

住みよい村づくりも一人一人のどんなことについての心がけが大切なことだと思います。

戸締り注意

中部地区
農業改良普及所

八月の稲作
コメ作りの仕上げ

よいお天気に、稲の出穂を迎えるのは実に気持の良いものですが、最後の仕上げをぬかりなくやりましょう。

すでに稲つくりは終って、これから大切な米作りに入るわけですが、稲は今自分の体の中にある養分を穂に送るだけでなくこれからも、大いに根から肥料をすい、葉で同化作用を行ってモミをふくらませて行くのですから、先ず絶対に必要なのは水です。穂水、花水はタップリかけてやり、出穂後二、三十五日間くらいは水を切らさないようにしましょう。

たゞ、根腐れで秋落ちするような山間湿田は、時々入れかえたり掛流しも良いでしょう。

又、大事な米つくりの時にハラがへっては大変ですから、穂が出ても白のさめた田は、アンモニアをまいた方が良いのですが、今年は九月の天気が心配ですから、イモチの様子を良く見てから慎重にやって下さい。

イモチやキンカク倒伏で、穂に行く養分をストップさせるのはもっての外ですから、充分注意してやりましょう。倒伏間違いない稲は四列おきに一列ずつ刈取るか、出穂後、穂を切らないように葉先を切り取るかしなければなりません。仕方なく倒れた稲は起してやった方が良さそうです。

今月のお天気

夏らしい夏、というと人間様はあまり有難くないが、作物には誠に幸いなことです。（たゞ水不足の心配はありますが）

今月は、月の半ばと月末頃に一時涼しくなることもありそうですが、おおむね順調な夏、ということのようです。

月を通じては、気温も日照も降水量も大体平年並みの見込みです。

なお、台風は一、二回本土に接近または上陸するおそれがありますから、その節はラジオを聞きのがさないようにしましょう。

多発か！ホ首イモチ！ウンカ！

今年の稲は全般に草丈に比較して茎数が不足している所調、軟弱な生育を示したために七月中下旬には各所に葉イモチを誘発する結果となった。

この様な経過をたどって来た作柄も後半に入ってこれからの管理を余程上手にやらないと、連続豊作の声も消え去ることになる。毎年のことながら収量に直接影響を及ぼす病害虫にホ首イモチ並びにウンカを上げることが出来る。

ホ首イモチや枝梗イモチの発生は出穂直前の気象条件にも充分左右されるが、特に、本年のように葉イモチの発生が遅くまで続き、出穂時にも終息しないような年には発生が考えられるので注意しなくてはならない。

葉イモチの発生のなかった水田だからと云って、ホ首にやられないと安心しては危険で、むしろ品種によっては葉イモチに発生の予想される場合は濃度のやや高いものを用いるとよい。

ウンカの防除で大切なことは早期発見することである。即ち

❶通風不良で採光の悪い山陰、長敷部辺、堤防沿等の水田を注意して見廻ること。

❷水田を見廻るときは田の中央部に入って稲株を分けてみる。

❸灯火への飛来状況に注意することにより見つけ次第防除するか、多発の際は一斉防除が望ましい。薬剤はBHC、マラソン、パラチオン、EPN、セビン等いずれもよいが、ツマグロヨコバイにはBHCは効果が少い。

＝ハクサイの＝播種と施肥

◎白菜の特性は

白菜は涼しい気候を好み暑さに弱い。生育適温は〇二千度前後とされ、初期が高く中期から結球期へ湿度が低下する条件がよい。気候的に秋の野菜だ。

◎品種の選び方

松島交配七号、千才（中晩生）松鳳翠一号（芝系の中生）長岡交配二号、長岡交配六十日（早生）まき時が遅れるに従って早生系を選ぶことにしたい。

◎まき時の決定

この地区では最低気温〇十五度になる九月十日から、さかのぼり三十五日前後が、まく適期となるから、八月の上旬の内にまきおえたいものだ。

◎種子まきの方法

十アール当り〇・五㌔位この地区の段丘地で軽い土のところではビールビンの底で円くまき場を作るのも一方法だ、まき終ったら、デルドリン、アルドリン粉剤をモミガラにまぶしておくと軟腐防止や害虫の防除に役立つ。

◎肥料の考え方と施し方

結球白菜は短期間に大きく生育する。かなり多肥栽培しないとよいものは作れない。成分としては、発育の初期はチッソ吸収が盛ん、結球期になるとカリの吸収が急にふえてくる。ことに病害の発生が常に問題となるこの地区では、チッソの偏用を注意したい。肥の量は、あなたの田の倍量がおおよその白菜の施肥量とされたい。

養豚
〔少年期〕飼育のカナメ（その二）

四、日常の管理について

四季を通じてブタの最もしのぎにくい季節が夏だ。豚舎の北側からは出来るだけ風が入るように、又、強い日光から避けるように防暑だな（とカゲ）を作ってやることも大切、夏はとくにカサカサに荒れがち、ブラシがけ一日一度は励行、又、午後の二～三時は一番暑い時間、この時に水洗いによる手入をやれば、防暑と兼ねて一石二鳥。敷ワラは何時も清潔に、とりかえすることを忘れてはならない。

五、もう一度駆虫薬を

親から離して十日目に第一回の駆虫をしたわけだが、その後一ヵ月目に第二回の投薬を願えれば完璧である。

六、ヒフ病、湿疹について

ヒフ病の中で普通にみられるのがこの湿疹で、豚小屋と称する不潔なもの、ヒフの手入不足、カルシウム不足、湿度の高い場合（梅雨期、九月の台風期）多発しやすい。このような飼育管理のまずさ、特に栄養不足、手入の不充分などだ。この病状は色々あるが、最後は破れてカサブタとなる。湿疹は四肢の下部及びつけ根の内側、腹、耳などに多くでる。

手当の方法はこれらの原因を除くよう努力することと、クスリの手当を同時にやる。亜鉛華軟膏やほうさん軟膏などを塗布、軽いものでは一日一回の塗布で、五日もすれば乾燥してよくなるものである。

一行メモ

◎台風の時は田の水をタップリ

◎田の渠まき（粉剤）は夕方が効果的

◎イモチ発生田は水をきらさぬことが大切

◎トマトの青枯病菌は、強酸性または強アルカリ性と生きられない。畑に石灰、硫黄粉末をまくとよい